

アイホール



AI-HALL 10周年企画「北村想の宇宙」
AI-HALL自主企画VOL.97
プロジェクト・ナビ「砂と星のあいだに」
(98・10/17~18)

砂漠にたたずむ若い飛行士と老飛行士。不時着した戦闘機の上、たくさんの星が瞬いた。

北村想さんの作品はあとで思い返してみても、「ああ、きれいなあ」と感じてじわじわと感激がやってきます。(30歳・女性)



伊丹アイフォニックホール

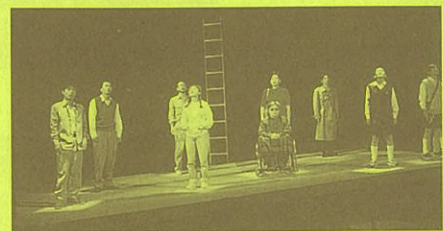
地球音楽シリーズNO. 53
『中世スペインの神秘 アルハンブラの舞い歌』
＜演奏＞エドゥアルド・パニアグア古楽団
(98・6/12)
CDばかりで聴いていて、今日つくづく音楽は見ながら楽しむものだと思った。(48歳・男性)

恋を楽器にした演奏に興味津々！他の楽器も大変珍しいものだけど、陶器それも花瓶に使えそうなものがすばらしい音楽に参加している。仕事を終えてホッと一息、幻想的な時間をありがとうございました。(40歳・男性)



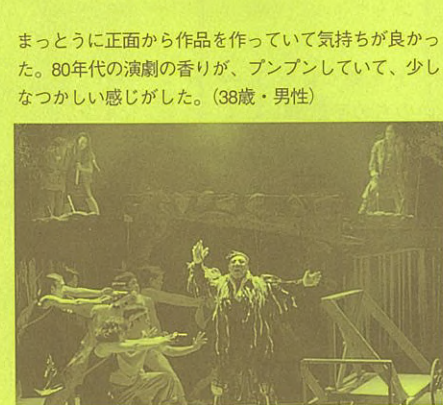
AI-HALL 10周年企画「北村想の宇宙」
桃園会「屋上のひと」(98・11/20~22)
何もない屋上、そこからの景色を静かに眺める人々。個性ある役者陣が、寂寥感と清涼感が溢れる舞台上に精彩を放った。

何か大きなものがおしよせてきた気がします。言葉にならないけれど、いま心が騒いでいます。今日、来てよかった。どうもありがとう。(21歳・女性)



AI-HALL 10周年企画「北村想の宇宙」
199Q太陽族「虎☆ハリマオ」
(98・11/27~29)
派手なセットの上、駆け回る幻のハリマオ。アイホールにマレーの虎が雄叫びをあげた。

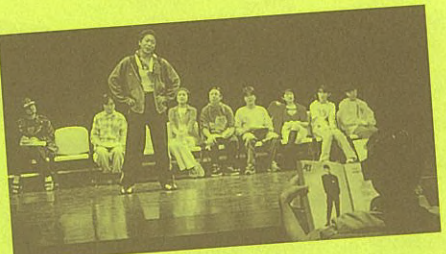
まっとうに正面から作品を作っていて気持ち良かった。80年代の演劇の香りが、プンプンしていて、少しつかしい感じがした。(38歳・男性)



地球音楽シリーズNO. 57
『ザルツブルク・マリオンネット劇場 くるみ割り人形』
＜出演＞ザルツブルク・マリオンネット劇場
(98・12/1)
あらわしかたが、すごくよかった。ほんとうの人がやっているみたいでした。(9歳・女子)

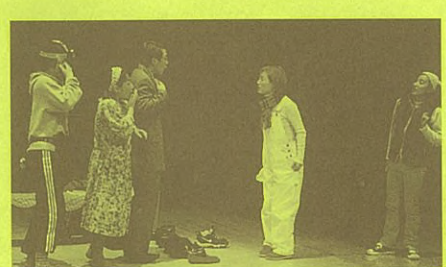
地球音楽シリーズNO. 55
『カンツォーネ・ナボレターナ“黄金期”名曲選 ピエディグロッタの歌祭り』
＜出演＞パオラ・フォルナサリ・パツェッティ他
(98・9/19)
素晴らしい公演をありがとうございました。おかげで65年前の女学生時代を思い出し、青春時代に若返りました。(70歳・女性)

日中の喉の乾いている時に、美味しい水をたっぷりいただいたような喜びでした。マイク無しで、生の声が聴けて嬉しい限りです。ありがとうございました。(62歳・女性)



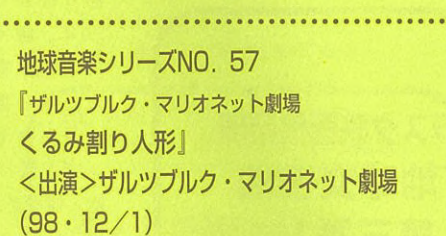
AI-HALL 10周年企画「北村想の宇宙」
転球劇場「あ・ほーまんす」
(98・12/4~6)
オーディション会場を舞台にした「転球劇場版あ・ほーまんす」。アイホール場内を爆笑の渦に巻き込んだ。

皆さん個性きついですね。なんだか久しぶりに腹から笑った気がします。爽快！(30歳・女性)

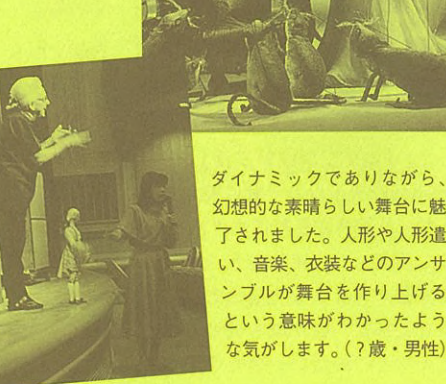


AI-HALL 10周年企画「北村想の宇宙」
プロデュース。10「DUCK SOAP」
(99・1/29~31)
北村想の演劇論を色濃く反映した「DUCK SOAP」。関西を代表する演劇人と演出の東野博昭が、10周年企画の最後を見事に飾った。

いったいこれは何だったんだ…。お遊びのようなエチュードのような気分転換のような…。と言いつつ妙に楽しい時間でした。(43歳・男性)



ダイナミックでありながら、幻想的な素晴らしい舞台上に魅了されました。人形や人形遣い、音楽、衣装などのアンサンブルが舞台を作り上げるという意味がわかったような気がします。(7歳・男性)



ラスタホール

伊丹市南野字矢倉塚720-2
TEL: 0727-81-8877

●ラスタライトコンサート
～待兼交響楽団～

5月29日(土) 14:30
入場無料
待兼交響楽団は、大阪大学交響楽団OBを中心とした、大学オーケストラ経験者による楽団です。小さいお子様も気楽に楽しめるクラシックコンサートですので、ご家族そろってお越しください。

●小学生のための
HolidayわくわくDoing

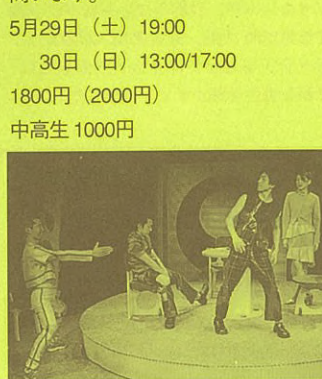
4/25(日)～(全5回)定員25名
受講料(教材費含む)5000円
今回のテーマは「あそぼう」。心とからだ弾ませて、一緒にいっぱい遊ぼうよ。パルーンアート、ホースシューズ、里山あそび、クッキング、フラダンスなど、つくる・なげる・探る・食べる・踊る一心わくわくドキドキするような体験ができるという。あそぼう、まずはそれから。申込は、4月5日(土)9:00～先着順

アイホール

伊丹市伊丹2-4-1
TEL: 0727-82-2000

●協力公演
TVNTRYTHM
「ヴェルヴェットバタフライ」

作・演出/佐島豊
関西では珍しいテクノ系演劇集団として独自の空間を創り出す、TVNTRYTHM(タントリズム)。今回、初のアイホールでは、インドのガンジス河流域にある巡礼の聖地=ベナレスを舞台に、自殺志願者やドラッグにおぼれる者など、現代の病をかかえ持つ旅行者たちを描きながら、人が癒されることの意味を問います。
5月29日(土) 19:00
30日(日) 13:00/17:00
1800円(2000円)
中高生1000円



「TOPY」(98年11月)

●協力公演
スクエア

自分たちの世代や時代の感覚を軸に独自のコメディスタイルを確立しているスクエア。人間はこんなにバカで滑稽でいたたまれなくて哀しくて愛しくて面白いんだというテーマのもと「リアルで笑える芝居」を追求するスクエアがやってくる。ご期待あれ。
6月中旬



伊丹アイフォニックホール

伊丹市宮ノ前1-3-30
TEL: 0727-80-2110

●伊丹シティフィル
ハーモニーマニーマニ管弦楽団
「ファミリーコンサートVol.10」

お子様からお年寄りまで、家族揃って楽しめるファミリーコンサート。10回目を数える今回は、シティフィルのために特別にアレンジされたタンゴメドレーや、TVアニメの主題歌など、シティフィルでしか楽しむことのできない



「泊」(97年12月)

盛りだくさんの内容になっています。もちろん、クラシックの名曲もお送りいたしますので、御家族そろってお越しください。
5月23日(日)
14:30/18:30～(予定)
入場無料(要整理券)
整理券は、5月2日より配布予定。詳しくは伊丹アイフォニックホールまで。

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。

私・空・感 another time another place

ぴつつかぴかだよ、一年生

「オーシロ カズミ/漫画家」
春！新学期の季節だ。私の大好きな国バングラデシュでは1月から新学期が始まる。日本と違い就学年齢が決まっていなくて、同じ教室に4歳の子がいたら15歳の子もいる。授業内容は驚くほど高度で、しかも進行が非常に速い。この国の学校は入れ替え制のため、1日に受けられる授業は3時間が限度。子ども達についていけなくて必死だ。平均寿命が52歳と短い分、人生も急がねばならないかのように見える。

では、ここで小学1年生の教科書に実際に載っていた問題をいっしょに解いてみよう。
＜算数＞象1頭、牛2頭、アリ2匹、アヒルが3羽います。足は全部で何ジョラでしょう。 ※ジョラは2個一組のこと。
＜英語＞(ナント1年生から英語が始まる！)
次の空白にアルファベットを記入し、英単語を作りましょう。

① (例) pen have

② 私たち、バングラデシュではいったい何年生になれるのだろうか。

答え 1 5 ジョラ ①cat, net, など ②dog, key など ③book, desk など

アイホール
伊丹市伊丹2-4-1
TEL: 0727-82-2000
■JR伊丹駅前
■阪急伊丹駅東へ徒歩10分

伊丹アイフォニックホール
伊丹市宮ノ前1-3-30
TEL: 0727-80-2110
■阪急伊丹駅北へ徒歩7分
■JR伊丹駅西へ徒歩7分

ラスタホール
伊丹市南野字矢倉塚720-2
TEL: 0727-81-8877
■阪急福野駅西へ徒歩8分
■阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37)
■阪急塚口行
■阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37)阪急伊丹行はか

いたみホール
伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL: 0727-78-8788
■阪急伊丹駅北へ徒歩3分
■JR伊丹駅西へ徒歩8分

いたみホール

伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL: 0727-78-8788

いたみホールでは貸館利用の受付は9:00~21:30まで行っています。休館日は火曜日。
申込受付日は使用希望日の属する月の①大ホール 1年前の月の初日から20日前まで ②中ホール、多目的ホール、講師控室 11ヶ月前の月の初日から7日前まで ※中ホール第1週目のご使用受付は、6ヶ月前まで、連続使用(6日間まで)のキャンセル使用の方優先で受付可です。
③練習室 3ヶ月前の月の初日から当日まで
④会議室、和室、その他の施設 3ヶ月前の月の初日から3日前まで ※受付開始日初日に限り希望利用日の抽選を行います。 ※詳細については伊丹市立文化会館「いたみホール」までお問合せ下さい。

アイテム'99 vol.7(通巻10号)
1999年3月31日発行
発行●(財)伊丹市文化振興財団
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585

編集●アイテム編集委員会
デザイン●AIRS
※次号アイテム'98vol.8は7月中旬に発行予定。

item (財)伊丹市文化振興財団

いたみホール
アイホール
ラスタホール
伊丹アイフォニックホール
文化情報紙

'99 スタート・ダッシュ特集

冬のしんしんとした寒さが、次第に暖かくなっていく春、芽吹き春。なぜだか心がうきうき、そわそわし、何か新しいことをはじめたくなる。誰かに出会いたくなる…。いつもと違う自分を探しに、伊丹市内のホールに出かけませんか。

平成11年度
ラスタホール春の講座

アイフォニック地球音楽シリーズNO. 60
"それでも彼らは演奏し続けた..."

映画＜タイタニック＞
サロン・オーケストラ

伊丹アイフォニックホール

ラスタホール
4月18日(日)午前9時より、ラスタホールにて受講生の募集を開始します。先着順で定員になり次第締め切り、定員に余裕があれば、翌日より電話でも受付可です。ラスタホールである方も新しい春の出会いが見つけられるかも。(各講座の詳細については次ページをごらんください)

不滅の名曲をいたみホールで！
ドイツ伝統の楽団と国際的ソリストによる「絶対的」に充実した公演

北西ドイツ
フィルハーモニー管弦楽団

いたみホール

ソリスト:(ピアノ) 仲道 郁代、セルゲイ・タラソフ
指揮: 浮ヶ谷 孝夫
管弦楽: 北西ドイツフィルハーモニー管弦楽団
いたみホールでクラシックを存分に楽しんでいただく企画。戦前ドイツ帝国放送のブルックナー・オーケストラをもとに設立された歴史あるオーケストラ。その実力はカレラス、ドミンゴ、パヴァロッチの3大テノールとのコンサートでも絶賛され、ますます注目を集めています。
今回の演目は、ベートーヴェンの「運命」。また、ソリストに仲道郁代を迎えシューマンのピアノ協奏曲イ短調作品54を。さらにチャイコフスキーの名曲、ピアノ協奏曲第一番を、各国のコンクールで1位、上位入賞に輝き、現代ロシアトップのピアニスト、セルゲイ・タラソフの演奏でお楽しみ頂きます。指揮は、北西ドイツフィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者 浮ヶ谷 孝夫。名曲と実力ある演奏者たちによる迫力と色彩感あふれる演奏にご期待下さい。
5月24日(月) 19:00
一般S席6000円、A席5000円
学生S席4000円、A席3000円
(500円UP)
◎取扱いたみホール、チケットぴあ、ローソンチケット
仲道 郁代 ©KOJI INOMOTO

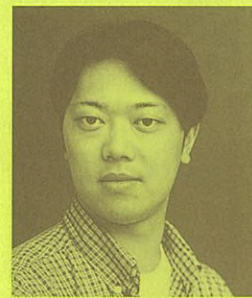
場面の数々を香りたつほど鮮やかに魅らせることでしょう。
5月18日(火) 19:00
一般 3000円
学生 2000円
(500円UP)*全席自由
*当公演に連動した講演があります。

AI・HALL・グロウアップ事業
アイホール自主企画VOL.100記念
AI・HALLハイスクール・プロデュース

「空と私のあいだ」
アイホール

作・演出/土田英生
この春、アイホールでは自主企画100本目を記念して行われる新企画、ハイスクール・プロデュースが開催されます。伊丹市在住・在学的女子高校生を対象に出演者を募集し、高校生による現代演劇のプロデュース作品を創作するという試みです。
この作品は、昨年度アイホール中学高校演劇フェスティバル'98(毎年、3月に市内中学校計8校が一堂に会して行われる)で大賞を受賞した県立伊丹西高校に副賞として、京都を拠点に活動している劇団「MONO(モノ)」主宰の土田英生が書き下ろしたオリジナル作品。とある女子高のそばにあるファーストフード店

の2階を舞台に、そこに集う女子高校生たちの会話を通して、現代を生きる高校生の等身大の青春を描きます。



作・演出を担当する土田英生は「ただ人がそこにいるということ、それだけを意味を問わずに投げ出したような作品です。女子高生だからということを考えず演出するつもりです。いい舞台にしますよ」と意気込みを語ります。新進鋭鋭の劇作家、土田英生と女子高校生10名がどのような舞台を繰り広げるか。乞うご期待。5月8日(土) 18:00 9日(日) 14:00

AI・HALL自主企画VOL.101

プロジェクト・ナビ 『螺子と振り子』

アイホール

作・演出/北村想 昨年から今年の始めまで7本の北村想(プロジェクト・ナビ)作品の一挙上演が大好評を博した『北村想の宇宙』。今春の北村想・期待の



「砂と星のあいだに」(98年10月)

新作は、日本文芸童話を正面から取りあげて戯曲にしたお芝居。幼少の頃からマンガと、世界の童話や日本の文芸童話を座右の書として、読み育った北村想。日本の昔話とはちよいと色の違う、無国籍な世界を設定し、独特のキャラクターたちが醸し出す日本文芸童話戯曲。お楽しみに。

伊丹想流私塾第3期生公演

『七月の空の下』

アイホール

塾長に北村想、師範として199Q太陽族主宰の岩崎正裕、桃園会主宰の深津篤史を迎え、月2回のペースで行われている戯曲塾、伊丹想流私塾。4年目となる今年も、塾長、両師範のエエカゲンかつ厳しい指導のも

6月26日(土) 15:00/19:00 27日(日) 14:00 3000円(3300円) 中高生2000円 ◎前売発売日 5月9日(日) ◎チケット取扱 アイホール チケットぴあ



伊丹想流私塾第2期生公演 「明日来るひとびと」〜七つめの椅子〜(98年4月)

と、塾生各々が1年間の集大成を創り上げる。昨年の「七つめの椅子」に引き続き、今年も『七月の空の下』という共通テーマのもと、塾生11名の戯曲が一挙に上演される。7月3日(土) 4日(日)

いたみホール

「いたみホール」オープン (98・11/3)

竣工式典・開館記念公演には、多くの方々にご来館いただき、華やかにオープンを迎えることができました。



伊丹市郷土美術工芸作家展 (98・11/15~23)

6F中ホールは天井高のある、光あふれる空間。毎月第1週目は連続使用を優先。ギャラリースペースとして活用いただけます。



R e p l a y s '98 ~ '99

関西芸術座

「おかあさん疲れたよ〜春のうららの」 (99・1/23)

伝統ある劇団による充実した舞台。公演前には、原作者 田辺聖子先生(写真)に「生きること 夢みること」と題しておはなしを頂き、より一層、物語の深くにせまることが出来た公演でした。



葉加瀬 太郎 AcousticLive (98・12/9)

クラシックをベースに枠組みなしのポップサウンドで、世界をフィールドに活躍する葉加瀬 太郎。最新アルバムのアップトゥデートなラテンサウンドも新たに、斬新な音色を聴かせてくれました。



郷土伊丹の先人顕彰劇第9作 伊丹劇団協議会合同公演 「わが郷町のひげ医者 原 老柳」 クスノキはさらに枝を広げて (99・2/20~21)

主役は江戸時代の名医、郷土伊丹に腰を据えた原 老柳。頼 山陽との交友も描かれた物語は、郷土伊丹の歴史をいろいろと再発見する機会になりました。

ラストホール

西川ヘレン講演会

「私の人生ドラマ」 ~女の夢・妻の願い・母の祈り~ (98・10/2)

笑いと涙で、会場全体をじんわりと感動で包みました。これからの生活に夢を持ち、本当に家族楽しく生きるべきだと思いました。(50歳女性) 生きるとは日々の生活そのものだということを ヘレンさんよりあらためて教えられました。とても良かったです。(57歳 女性)



HIROSHI (吉田洋) ピアノライブ (98・11/15)

クラシックを越えたピアノの妙技!軽快なトーク。会場を埋め尽くすほどの人々は、すっかりHIROSIワールドにはまっていました。



なんとなく息をつめて聴いてしまおうクラシックに突然、身近な曲が飛び込んできて、くるゾくなるゾなんてワクワクしながら、本当に楽しめました。(32歳 女性) 「50年目のラブレター」良かったです。ジーンときて涙ぐみそうでした。12月に亡父の50回忌があり、母もきくと50年目に父にラブレターを書いたろう…。(51歳 女性)



能囃子の楽しみ (99・1/31) ~聴く・見る・触れる~

<講師>金春流太鼓方 上田悟・上田慎也 大倉流小鼓方 上田敦史

親しみあるお話しと、めったに実現しない父子競演による迫力ある演奏。お囃子体験のときには、「ちょっと恥ずかしそうな」「うれいような」「真剣そのもの」「イキイキした表情がいっぱいでした。



アイフォニック民族文化サロン “話題の地球儀” NO.71

『アイルランド、パブとお酒事情』

伊丹アイフォニックホール

<講師>武部好伸 (文筆業・日本ペンクラブ会員) アイルランドはウイスキーの発祥地とあって、人々はお酒をこよなく愛しています。パブでは黒ビールとウイスキー、そしてアイリッシュ音楽が欠かせません。アイリッシュたちのお酒の楽しみ方、パブ事情、酒文化をご紹介します。5月10日(月) 19:00~20:30 1500円(要電話予約) 会場/小ホール1



アイフォニック 地球音楽シリーズ NO.61

『北インド古典舞踊 神秘のリズム ‘カタック’』

伊丹アイフォニックホール

<出演>スラバニ・バナジー&ヒンドウスターニー・アンサンブル インド4大舞踊の一つといわれている“カタック”。複雑なフットワークと高速の回転が特徴のこの舞踊は、古代、北インドのカタカと呼ばれる語り部が、想像力豊かに語ったヒンドウの神々や英雄たちの物語に音楽と踊りが加わり、神への捧げ物として発展していったものです。その後、宮廷文化と結び付き、より華やかで官能的な要素を兼ね備えてきました。両方の足首にそれぞれ120個近くの真鍮製の鈴グングルーをつけたダンサーが、足を踏み鳴らしての即興の踊り、随所に見られるフットワークと太鼓太鼓との掛け合いは息をつくのも忘れるほど。チャッカルと呼ばれる旋回も



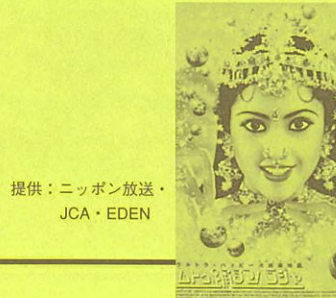
カタックの特徴で、優れた舞踊手はスカートを膨らませながら、目も眩むような速さで何十回も回転できるとか。巧みな足さばきと柔らかな手指の動きを神々に捧げる—そこからは現代に生きる私たちが見いだせるのかも知れません。6月26日(土) 19:00 一般 3000円 学生 2000円 (500円UP)*全席自由 *当公演に連動した講演があります。

アイフォニック民族文化サロン “話題の地球儀” NO.72

『映画を通して 見るインド』

伊丹アイフォニックホール

<講師>重政隆文 (大阪芸術大学助教授) 映画には監督の考えだけが表れているわけではありません。スタッフや、それを見る観客の考え方や心理までも反映してしまうのです。つまり映画を見ると、その国の様子がうかがえるのです。映画から見えるインドについて考えてみます。6月7日(月) 19:00~20:30 1500円(要電話予約) 会場/小ホール1



提供:ニッポン放送・JCA・EDEN

平成11年度 ラスタホール春の講座 (日時・回数・受講料・定員)

ラスタホール

ラスタホール春の講座の市民文化塾では、古典文学に親しむ、源氏物語や平家物語、海外の文化や旅の楽しみについて知る、世界の旅・探求シリーズVol.14スペイン、癒しの方法のシリーズ⑥、フラセラピー、中高年の方を対象とした健康登山ハイキングなど。実技セミナーでは、いま人気の陶芸やトールペインティング、心を伝える絵手紙、身近な楽器に親しむリコーダーアンサンブルなどを実施します。

源氏物語を読む (前期) ~原文を味読する~

わが国を代表する古典文学。光源氏をめぐる女性たちの艶やかにやがて衰しく綴られた物語を原文から味わいます。本年度は若菜の巻を学びます。(5/21~7/16 13:30~15:00 全5回・4250円・30名)

平家物語入門 (前期) ~その親しまれる理由~

諸行無常・盛者必衰を体現する平家

一門の興亡の経過をたどりながら、平家物語の魅力を探ります。昨年に引き続き、巻1の鶴川合戦から巻2の十数訓まで学んでいきます。(5/20~7/15 10:00~11:30 全5回・4250円・30名)

世界の旅・探求シリーズ Vol.14スペイン

不思議な魅力に満ちたスペイン。他のヨーロッパの国と違った雰囲気を感じさせられるのは、キリスト教文化、ユダヤ教文化、イスラム教文化という3つの文化が折り重なるように作り上げられたからでしょうか。スペインを旅行するという事は、この重層する文化の襲を1枚1枚はがしていく発見の旅になります。エリアガイド「スペイン」(昭文社)というガイドブックを片手に、5回にわたってスペインをラスタホールに居ながらにして旅してみませんか。ときどき街角のカフェテラスに座ってコーヒブレイクを楽しみながら…(5/16~6/27 14:00~15:30 全5回・4250円・30名)

癒しの方法⑥ フラセラピー

簡単なようで、実はかなりの運動量をこなすフラダンス。音楽に合わせて体を動かすうちに、自然に快適なイメージが作られ、リラクゼーション感が増えます。(5/26~7/7 14:00~15:30 全4回・3400円・30名)

中高年のための健康登山ハイキング ~初心者向きコース~

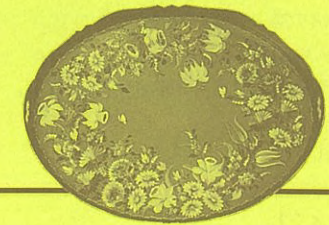
新緑と澄んだ空気の中でハイキングを楽しみませんか。自然とのつきあい方や、ハイキングの楽しみ方を実際に歩きながら講習します。(4/30~5/29 9:00~16:00 全4回・3400円・12名)

はじめての陶芸 ~土の温もりいっばい、暮らしの器を自分で作る~

陶土のこね方から、ろくろの基本、うわぐすりの塗り方、窯の温度変化についてなど陶芸の、基本を実習します。(5/10~10/18 14:00~16:00 全10回・8500円・12名)

トールペインティング入門 (前期)

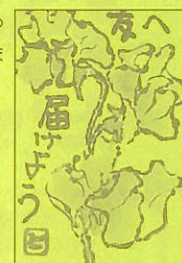
~アッセンデルフトフォークアートペインティング~ 本講座では特に、アッセンデルフトフォークアートペインティングに挑戦します。オランダ北部で生まれたこの技法は、現在伝える人も少なく貴重なものになっています。特徴は丸筆で一筆書きの手法で、色合い、重厚感が出せます。フリーハンドですので同じデザインでも、個人の表



現力などで個性豊かな作品が出来上がります。(5/12~9/29 10:00~12:00 全10回・8500円・15名)

ヘタでいい、ヘタがいい 絵手紙入門 (前期)

野菜・果物・花など神様が作った手本ともいべき自然の産物をしっかり見つめて、ゆっくり描いていきましょう。(5/21~10/1 14:00~16:00 全10回・8500円・20名)



リコーダーアンサンブル

リコーダーの歴史は古く、11世紀には既に用いられていたと言われます。リコーダーという言葉は小鳥が巣の中で鳴くさえずりを表す動詞からきたといわれています。リコーダーの音質が小鳥の歌声に似ていたからでしょうか。17,8世紀頃には、宮廷や町の祭礼や舞踏の伴奏など盛んに用いられていたようです。その後しばらく使われなくなりましたが、20世紀に入り、古典音楽への関心が復興し、リコーダーを学校の教育用楽器に採用したことがリコーダー普及を促進しました。この講座では、お子様が小学校時代に使っていたけれど、今では押し入れの奥に眠っているリコーダーで気軽に音楽に親しんだり、アンサンブルの楽しさ

ラスタ映画倶楽部 「地球交響曲 第三番」

ラスタホール

「地球の声がきこえますか。」という呼びかけが始まる映画「地球交響曲」。ラスタホールでもすでに「第一番」「第二番」を上映し、地球の美しさやその大切さをあらためて見直すと共に、出演者の生き方に感動したと大きな反響を呼びました。「地球交響曲第三番」は、1996年カムチャツカで熊に襲われなくなった写真家星野道夫さんと行くはずだった、南東アラスカから北極圏への壮大な大自然の中の旅を縦糸に、彼が魂を分かち合った人々との出会い、また宇宙物

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。